

海外安全対策情報（平成27年第1四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) 政府の政策等に不満をもつ一部の団体によりデモや集会等が頻繁に開催されている。
一昨年9月には環境保護を標榜する団体が、審議中の法案に反対し小銃等を携行して政府庁舎付近で抗議活動を行った結果、銃が暴発するという事件も発生した。
- (2) 国内の経済の先行きに関する不安、貧富の差の拡大や資源ナショナリズム等から、外国人をターゲットとした暴力行為や強盗・窃盗事件が昼夜を問わず発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) モンゴル国警察庁から入手した本年1月から3月までの犯罪認知統計によると、総犯罪認知件数は7,876件と前年同期に比べて18.0%の増加となっている。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	46件（前年比 -4.2%減）
強盗	175件（同 -15.9%減）
強姦	59件（同 -14.5%減）
暴行・傷害	2,110件（同 +11.0%増）
窃盗	2,627件（同 +22.8%増）
ひったくり	74件（同 +19.4%増）
詐欺	588件（同 +47.7%増）

年間の犯罪認知件数は、2012年以降増加を続けている。本年も、従来型の路上犯罪に加え、インターネット等を利用した詐欺犯の急増などにより、治安情勢の悪化に歯止めがかからない状況である。

モンゴルの犯罪の特徴として、暴行・傷害といった粗暴犯が窃盗犯と同様に高い割合を占めていること、犯罪の多くが酒に酔った上で行われていることが挙げられる。

また、人口比に対する殺人・強盗・強姦といった凶悪犯罪の認知件数は、日本の約10倍に上っている。

(2) 邦人被害事案

ア 1月22日午後1時ころ、市内中心部において、路上で物を売っている男に数百メートルつきまとわれた上、ズボンのポケットに手を入れられ、財布をすられそうになった。

イ 2月17日午前11時ころ、市内公共バスに乗車中、カバンに入れていた旅券等を盗まれるスリ被害に遭った。

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

なし

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。